

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) アサヒ飲料株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1
----	--------------------------	----	---

本票作成 部署名：岡山工場

主たる業種	分類コード	10	業種名：飲料・たばこ・飼料製造業
-------	-------	----	------------------

事業の概要	乳酸菌飲料・清涼飲料製造業、生産液量185,098KL、従業員数229名(令和2年3月末時点)
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県総社市真壁800

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 (5 箇年度)
------	----------------------------

削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 4.9 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	目標年度(令和6年度)
	(CO ₂ 排出係数:関電)12,967 t CO ₂ (CO ₂ 排出係数:東電)15,047 t CO ₂	(CO ₂ 排出係数:東電基準)14,310 t CO ₂

基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	基準年度(令和元年度)の排出量
	①	岡山工場	15,047 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産液量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		(CO ₂ 排出係数:関電)70.1 (CO ₂ 排出係数:東電)81.3	(CO ₂ 排出係数:東電基準)77.3
		kg CO ₂ / (KL)	kg CO ₂ / (KL)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和元年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

令和2年5月からの電力購入先変更(関西電力→東京電力エナジーパートナー)によるCO₂排出係数増加(0.000352→0.000468t-CO₂/kwh)により、次期計画期間におけるCO₂排出量は増える見込みである。CO₂排出原単位の目標設定に当っては、増加するCO₂排出量削減を目的に毎年▲1.0%の原単位削減は継続し、計画期間中(5箇年)に基準年度に対して▲4.90%の原単位削減を行う目標を設定する。次期計画期間の目標設定に当っては、東京電力エナジーパートナー社のCO₂排出係数を使用して算出した基準年度のCO₂排出量をもとに目標設定を実施しております。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・工場長を環境管理責任者におき、ISO14001事務局を設置し、工場全体の活動として省エネ活動を推進している。(ISO14001_2015年版認証取得)
- ・四半期毎の頻度で環境管理委員会を開催し、原単位削減目標に対する進捗状況を確認している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	(令和元年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・工場内エア供給圧力低減によるコンプレッサ電力使用量削減(CO2削減量54t/年) ・PETライン液処理設備運転方法見直しによる電力使用量削減(CO2削減量31t/年) ・冷却水切替え(冷凍機用冷水→井戸水)による電力使用量削減(CO2削減量16t/年) ・PETラインキャパ用エア使用量低減によるコンプレッサ電力使用量削減(CO2削減量13t/年) ・工場内蒸気回収及び蒸気配管保温によるLNGボイラ燃料使用量削減(CO2削減量13t/年)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山工場	(令和2年度予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・小型貫流ボイラ台数制御見直しによる燃料使用量削減(CO2削減量19t/年) ・PETライン水滴除去用エアのブロー化による電力使用量削減(CO2削減量18t/年) ・工場内照明LED化(調合・厚生棟)による電力使用量削減(CO2削減量12t/年) ・蒸気配管・バルブ保温による燃料使用量削減(CO2削減量6t/年) ※令和3年度以降の省エネ施策は別途検討を行う予定です。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	森林保全を目的に高梁市にて植樹活動の取組みを実施予定です。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

C02排出量削減として取組んでいる下記内容については今後も継続予定です。
 ・冷暖房設備の電力使用量低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる
 ・事務所棟の東側にゴーヤを植えグリーンカーテンを設けています。